



## 若者の活躍を応援します! NIC グローバルキャリアセミナー NIC グローバルユースデー 2022 を実施しました

### NICグローバルユースプロジェクト

グローバルユースカフェ  
月1~2回のミーティングと  
イベントの実施

メンバーとの交流を通して新たな若者が加わる

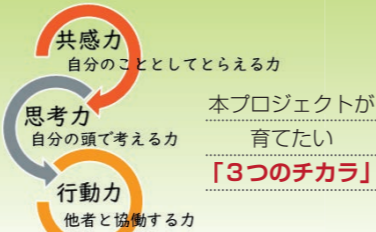
### グローバルユース フォーラム & 人材育成研修

関心を  
高めた若者が  
ユースカフェ  
に参加

NICでは、若者が社会や地球に対して視野を広げ、活躍するための意識や知識、行動する力を育むことを応援する「グローバル人材育成事業(NIC グローバルユースプロジェクト)」を行っています。その一環として2月と3月に実施した2つのイベントの様子とともに、「NIC グローバルユースプロジェクト」について紹介します。

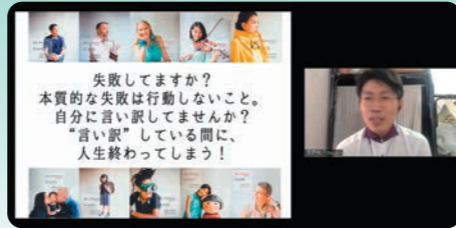
### 「NIC グローバルユースプロジェクト」 が育てたい「グローバル人材」とは…

- ☑ “持続可能な社会”の実現に向けて
- ☑ 社会の課題を“自分ごと”としてとらえ
- ☑ 地域でも、世界でも行動できる人



### 2022年2月26日(土) グローバルキャリアセミナー

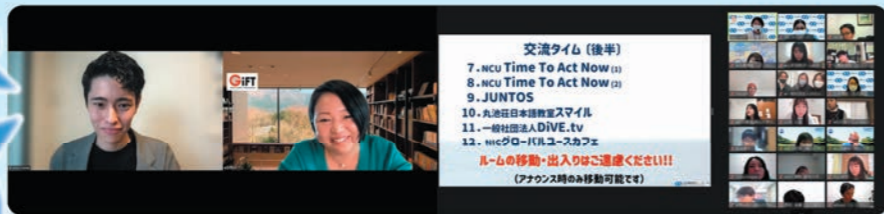
国内外でグローバルに活躍する方からそのキャリアストーリーを聴くセミナー。今回は、国連職員やアパレルブランド起業家、企業の海外営業担当者など様々な立場の方を講師に招きました。国際的な活躍を目指す若者が今後のキャリアプランを描くにあたって、良い刺激になりました。



脱サラし、カンボジアで立ち上げたアパレルブランドについて語る SuiJoh 代表の浅野祐介氏▲

### 3月5日(土) NIC グローバルユースデー 2022

この地域でグローバル、グローバルに活動する団体、活動を始めたい若者と、応援したい人々の交流イベント。今年は12のグローバルユースチームと、トークゲストに「フィリピンで一番有名な日本人」と話題のソーシャルメディアクリエイター・Fumiya氏を招きました。開催日直前にオンラインへ変更したことにより、参加者同士の交流が思うようにできませんでしたが、他団体の取り組みを知ること、自団体の運営や活動についてより深く考える機会となり、学びのある交流ができました。また、団体同士のアイデアの共有や情報交換、強い想いをもって夢に向かうFumiya氏のお話に刺激を受け、新たなアイデアが生まれ、次のステップや企画につながる一日となりました。



▲トークゲストのFumiya氏とナビゲーターの辰野まどか氏(NIC グローバル人材育成アドバイザー)

フィリピンと日本の架け橋になる!

「運」は、「行動」の先にしかない。行動しているから運が引き寄せられる!

※「グローバルユースカフェ」とは、15~35歳の若者が定期的集まり、さまざまなアイデアを出しながら企画運営を行う“行動の場”。

## 「インターンを終えて」

NICでは、さまざまな事業での現場体験を通じて視野を広げる学生インターンを受け入れています。昨年10月から約5か月間にわたって、主に「グローバル人材育成事業」に携わった名古屋市立大学人文社会学部の岩田那佑さんが自身の活動を振り返りました。

私が担当した「グローバルユースカフェ」では、集まった仲間たちと「居場所作り」を目標に打ち合わせを重ねながら交流会や日本文化体験会を実施しました。いろいろなアイデアや意見をまとめて形にすることは難しかったですが、メンバー全員で一から作り上げたことでより良いものになったと思います。

また、司会進行を務めた「グローバルユースデー」はオンラインのため参加者の反応が分かりづらい状況でしたが、イベント後に多くの方からの有難い言葉にやりがいを感じ、さまざまな分野で活躍する若者から多くの刺激を受けた一日になりました。

他にも日本語教室の見学やキャリアセミナーに参加して「対面とオンラインを上手く使いこなして行動する必要性」や「SNSを利用した発信やつながりの可能性」という現代社会にあった学びを得ることができました。さらに、学生では味わえない社会人としての経験から、責任や信頼のうえで仕事が成り立っていることの気づきもありました。

今回の経験で学んだことを活かし、多くの人々に影響を与える人になることを目指してこれからも歩んでいきます。



※岩田さんが携わった「グローバル人材育成事業」の詳細はP5をご覧ください。



▲グローバルユースカフェのメンバー

## ウクライナからの避難民を迎えて 「ウクライナ語で語り合える『つどいの場』」を開催

(主催:名古屋ウクライナ避難民支援実行委員会\* 協力:日本ウクライナ文化協会)

この催しは、ウクライナからの避難民の方々がつろぎながら母国語で話し合える機会を設け、これから日本で生活するための支援や役立つ情報の提供を目的に、名古屋国際センターで4月8日から定期的に行われています。避難してきた方や、彼らをサポートする在在の親族や同国出身者の方などが参加しています。(参考:愛知県内の避難民の人数...44名※5月9日現在)



集いの前半では、実行委員会から、在留資格や市営住宅をはじめとする住居、NICの相談サービス、各種支援事業の紹介のほか、日常会話に必要な言葉を学ぶ「日本語サポートサロン」も行っています。また、実行委員会が行った街頭募金などに寄せられた寄付金を原資に、避難民に対して支援給付金、光熱水費一時金や市営住宅への入居支度金の給付が行われています。

名古屋市長からの支援物資目録の贈呈▶



▲ウクライナ避難民の方々の懇談

後半では、同国出身の方々どうして話し合う場を提供しています。各々の近況や今後の生活などについて話し合われ、主催者に要望や意見、質問等が寄せられています。参加者からは「ウクライナ語で話すことで気分転換もでき、気持ちも落ち着いた」、「日本での生活に不安はあるが、こんなにも応援してくれることに驚き、うれしく思う」という感想の一方、「まだ今も両親や夫がウクライナに残っていて、とても心配」という言葉も聞かれました。

同実行委員会は、避難民の皆さまの要望を整理しサポートするとともに、「つどいの場」の提供も続けていく予定です。

※ウクライナから当地域に避難されている人々の支援のため、名古屋市と(公財)名古屋国際センターで組織しています。

名古屋市のウクライナ情勢への対応はこちらをご覧ください(支援金等の受付情報も掲載されています。)

